

令和3年11月定例会 県土整備委員会

令和3年12月14日（火）

〔委員会の概要 県土整備部関係〕

立川委員長

休憩前に引き続き、委員会を開会いたします。（11時17分）

これより県土整備部関係の調査を行います。

この際、県土整備部関係の11月定例会追加提出予定議案について理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることにいたします。

【追加提出予定議案】（説明資料（その2））

○ 議案第18号 令和3年度徳島県一般会計補正予算（第12号）

【報告事項】

な し

貫名県土整備部長

本日、追加提案を予定いたしております案件につきまして御説明を申し上げます。

それでは、県土整備委員会説明資料（その2）を御覧ください。

今回、御審議いただきます案件は令和3年度一般会計補正予算でございます。

この度の補正予算につきましては、国の経済対策に呼応し、迅速かつ切れ目なく対策を講じることが可能となる2月補正予算、令和4年度当初予算と合わせた16か月予算の第1弾として編成し、あらゆる関係者が協働した流域治水の推進、災害に強い交通ネットワークの構築、予防保全型の老朽化対策の加速などを図り、災害に屈しない県土強^{じん}靱化を加速するため公共事業予算の追加を行うものでございます。

それでは、資料の1ページを御覧ください。

一般会計の歳入歳出予算総括表でございます。

表の下から3段目、計の欄を横に御覧ください。

左から3列目、補正額の欄に記載しておりますとおり、県土整備部合計で130億2,640万円の増額をお願いしております。

その右隣の計欄には補正後の額を記載してございますが、合計で783億1,451万8,000円となっております。なお、補正額の財源につきましては、右の財源内訳欄の括弧書きに記載のとおりでございます。

2ページを御覧ください。

特別会計でございますが、今回、特別会計の補正はございません。

3ページから9ページまでは、補正予算に係る各課別の主要事項説明についてでございます。

3ページを御覧ください。

高規格道路課でございます。

緊急地方道路整備事業費で、3,070万円の補正をお願いしております。

4 ページを御覧ください。

道路整備課でございます。

道路改築事業費や緊急地方道路整備事業費で、合計40億6,430万円の補正をお願いしております。

5 ページを御覧ください。

都市計画課でございます。

街路事業費や公園整備事業費で、合計3億6,800万円の補正をお願いしております。

6 ページを御覧ください。

水管理政策課でございます。

堰堤改良事業費で、1億8,960万円の補正をお願いしております。

7 ページを御覧ください。

河川整備課でございます。

広域河川改修事業費や総合流域防災事業費など、合計69億7,600万円の補正をお願いしております。

8 ページを御覧ください。

砂防防災課でございます。

通常砂防事業費や地すべり対策事業費など、合計9億2,080万円の補正をお願いしております。

9 ページを御覧ください。

運輸政策課でございます。

港湾海岸保全施設整備事業費や港湾補修事業費で、合計4億7,700万円の補正をお願いしております。

次に、10ページから16ページにかけては、一般会計の変更分といたしまして、さきの9月議会で御承認いただいた事業につきまして翌年度繰越予定額の変更をお願いするものでございます。

16ページを御覧ください。

変更分を反映した補正後の合計は、表の最下段、右から2列目の欄に記載のとおり247億9,240万円となっております。

これらの事業につきましては、着実な発注に努め、分散型国土の形成に資する県土強靱化を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

以上で、提出を予定しております案件の説明を終わらせていただきます。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

立川委員長

以上で、説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは質疑をどうぞ。

福山委員

公共事業費の補正予算についてお伺いしたいと思います。

私は、自然災害から県民の命と暮らしを守る県土強^{じん}靱化を迅速かつ着実に推進する必要があると常々考えており、令和3年2月定例会の一般質問でも、県土強^{じん}靱化の更なる加速に向けた公共事業用地の早期取得について部長から御答弁を頂きました。

今回、公共事業費として総事業費約130億円の補正予算が提案されておりますが、予算計上の考え方と内容についてお伺いいたします。

神原県土整備政策課長

ただいま福山委員より予算計上の考え方と内容につきまして御質問いただきました。

11月19日に閣議決定されました国の経済対策におきましては、四つの柱の一つとして国民の安全・安心の確保が掲げられ、防災・減災、国土強^{じん}靱化のための5か年加速化対策に基づく取組を引き続き重点的に推進していくことが示され、現在、国におきまして補正予算案の審議が進められているところでございます。

本県におきましても、国の経済対策に呼応し、災害に屈しない県土強^{じん}靱化を加速するため、令和4年度当初予算と一体的に編成する16か月予算の第1弾として、今回の11月補正予算案において公共事業費を計上させていただき、切れ目ない事業の実施に努めてまいりたいと考えております。

補正させていただく公共事業費の内容としましては、5か年加速化対策の2年次目として、あらゆる関係者が協働した流域治水の推進として約55億円、災害に強い交通ネットワークの構築として約36億円、予防保全型の老朽化対策の加速として約39億円など、戦略的に県土強^{じん}靱化を進めるために必要な予算として総事業費約130億円を計上させていただいております。

これにより、激甚化、頻発化する自然災害や切迫する巨大地震から県民の命と暮らしを守る県土強^{じん}靱化の取組をなお一層しっかりと進めてまいりたいと考えております。

福山委員

予算計上の考え方と内容については分かりました。

補正予算の中身について、もう少し具体的に説明をお願いいたします。

神原県土整備政策課長

ただいま、補正予算の中身につきまして御質問いただきました。

今回の補正予算につきましては、総事業費約130億円を計上し、戦略的に県土強^{じん}靱化を加速させていくこととしております。

具体的には、河川におきまして、流域治水の根幹となるハード対策として、園瀬川や多々羅川等における河川堤防の整備、鮎喰川や海部川等における樹木伐採、土砂掘削を推進するとともに、道路におきましては、高規格道路へのアクセス向上を図るための阿南小松島線等における地域活性化インターチェンジの整備、地域防災力の向上を図るための緊急輸送道路の整備など、災害に強い交通ネットワークの構築を進めてまいります。

さらに、港湾施設や橋梁^{りょう}などの重要インフラにつきまして、早期に対策が必要な施設の修繕等を集中的に実施し、将来にわたってその役割を果たし続けられるよう予防保全型の老朽化対策を加速させてまいります。

今後とも、県土整備部一丸となりまして、しっかりと予算を執行し、県民の皆様が安心して暮らせる県土の実現に全力で取り組んでまいりたいと考えております。

福山委員

公共事業による社会基盤整備は、県民の生活と経済を支える上でなくてはならない極めて重要な事業でありますので、引き続き切れ目なく取り組んでいただきますようお願いして、私の質問を終わります。

山田委員

私からも数点聞きたいと思います。

まず、今回の130億円の補正なのですが、通常だったら2月補正でして、2月補正の先取りというふうな性格があるのですが、一応、今回の11月補正、そして2月補正についてもそういうことを確保しながら、また令和4年度の当初予算ということでの16か月予算ということで見えていく。

つまり、今回先取りすることによって2月補正の状況が変わるということがあり得るのかも含めて、先の見通しなのですが少し教えてください。

神原県土整備政策課長

令和4年度の予算編成につきましては、11月補正予算、2月補正予算、そして令和4年度予算ということになり、16か月予算ということでお願いすることにしておりまして、今回の11月補正予算で計上しておりますのは、公共事業の県が執行する部分について、現在国で審議されておりますものが年内に成立しますと、直ちに執行できるように11月に補正予算をお願いしているものでございます。また、直轄事業については2月の補正予算ということでお願いするところでございます。

また、今回の国の補正予算については待受型ということで設定しておりまして、この予算の状況の情報収集に努め、金額は幾らになるかということで、上振れした分等については2月補正予算で計上させていただきたいと考えております。

山田委員

この状況は注視していきたいと思うのですが、先ほど説明があった今回の柱の一つに流域治水の推進ということが挙げられています。

この度の補正で、河川整備課として河川整備をどのように進めていくのかということについてまず伺います。

坂本河川整備課長

ただいま山田委員より、この11月補正により河川整備をどのように進めていくのかという御質問を頂いております。

この度の補正によりまして、河川事業と海岸事業を合わせて69億7,600万円を追加計上させていただいております。

先ほどの神原課長の説明と重複するところもございますが、河川におきましては、流域

治水の根幹となるハード対策といたしまして、洪水時の水位低下を図るための川幅の拡大、また樹木伐採や土砂掘削を進めることとしておりまして、県民の皆様^{じん}に安全・安心を実感していただけるよう県土強靱化をしっかりと進めてまいりたいと考えております。

山田委員

流域治水の推進というのがありました。

事前委員会でも聞いたわけですが、今回の補正予算の中には、流域治水で進めるところとできないところがあるのかなと思うのと、以前、七つのプロジェクトを先行的に実施するということがありましたが、それ以外のプロジェクトも含めて進めるということになっていると思うのですが、その中身を少し詳細に御報告いただけますか。

坂本河川整備課長

この度の補正予算の内訳、流域治水についての予算の内容でございますが、この補正予算の中で、流域治水に係る部分につきましては約55億円となっております。

流域治水プロジェクトの今の進捗状況でございますが、まずは洪水予報河川や水位周知河川など、人口や資産が集積しており重大な被害が生じるおそれのある17水系7プロジェクトを8月末までに先行策定、また公表しております。

残りの22水系につきましては、現在策定の作業を進めておりまして、来年度の出水期までには策定を目指してまいりたいと考えております。

山田委員

その点で、22水系でできていない。来年の出水期、つまり6月ごろまでにするというところで、関係市町村をはじめ関係各課との協議を進めると、事前委員会でもそういう答弁があったわけですが、その進捗状況をもう少し具体的にお願いします。

それと、その分の予算的な面は今回の補正の中にどういうふうに反映されているのかという点についてお伺いします。

坂本河川整備課長

残る22水系のプロジェクトの現在の進捗状況でございますが、ただいま素案を県のほうで作っており、それに対する各市町の意見聴取を進めようという段階でございます。今後、市町、また関係機関の意見もお聞きしながら、案をまとめてまいりたいと考えております。

このプロジェクトの策定に係る予算につきましては、この度の補正予算には計上されておられません。

山田委員

今回は計上されていないということですが、それまでに進めていきたいということで、これについては注視していきたいと思います。

次に、交通ネットワークの構築で36億円ということが報告されました。

その状況等々について、どういう内容かという点も含めて、また進捗状況等々もあると

思うので、その状況についても、簡単に結構ですから御報告ください。

清水道路整備課長

ただいま山田委員から、交通ネットワークの整備状況について御質問を頂きました。

今回、道路整備課が担当しております11月補正について御説明したいと思います。

道路整備課におきましては、道路改築事業において17億3,000万円、緊急地方道路整備事業において23億2,000万円、計40億円余りの事業費を計上しており、これによりまして、災害に強い交通ネットワークの構築を整備していくこととしております。

高規格道路へのアクセス向上を図るために阿南小松島線立江櫛渕等で地域活性化ICの整備、あと地域防災力の向上を図るために山城東祖谷山線・京田工区等で緊急輸送道路の整備を計画しております。

また、予防保全型の老朽化対策としまして、道路の安全・安心を実現するために、徳島環状線・末広大橋昭和ランプ加速車線等で劣化が進む橋梁等の補修などの整備を行い、引き続き県土強靱化の推進に取り組んでまいりたいと考えております。

山田委員

これについても見ていきたいと思うのですが、この面では仕事がまだまだ残っているという状況なので、県民の安全・安心のためにも速やかに頑張っていただきたいと思うのです。

最後に、老朽化対策の加速ということで、港湾の安全度を向上するという話も出て、また、先ほど清水課長から話があった道路の面でも、この面を進めていこうということでの老朽化対策の加速というのが三本柱の一つになっています。

その現状と課題等々について御報告を頂けたらと思います。

披田道路整備課強靱化・安全対策担当室長

先ほど道路整備課に係る老朽化対策の加速ということで御質問を頂きました。

予防保全型の老朽化対策といたしまして、今回、道路メンテナンス事業に橋梁やトンネル、構造物の修繕や舗装修繕を計上させていただいております。

道路メンテナンスといたしまして、来年度の着手に向けた調査設計をしていきたいと考えております。あわせて、舗装修繕ということで、舗装の傷んでいるところについては舗装を進めていきたいと考えております。

これらの修繕を図りまして、地域住民、施設利用者の安全・安心を確保するため、事前防災の観点を含め計画的な対策を進めてまいりたいと考えております。

川口運輸政策課長

ただいま山田委員から、港湾関係の老朽化対策について、今回の11月補正でこういった形で進めていくのかということで御質問を頂きました。

港湾関係の今回の11月補正での老朽化対策といたしましては、お願いしております4億7,700万円のうちの港湾補修事業の1億6,300万円が当たります。

この1億6,300万円により、亀浦港における水深5.5メートルの岸壁や徳島小松島港沖洲

地区の臨港道路にある朝日橋の老朽化対策を進めてまいりたいと考えてございます。

山田委員

1点だけ確認なんですけれども、老朽化対策について、もちろん県内でいろいろな箇所があると思うのですけれども、いわゆる老朽化が比較的進んでいる、手を打たなければならないというところが大半にしてどれぐらいあるのかという点について、分かっていたら御報告ください。

川口運輸政策課長

まず、どれだけという数についてですが、手元にそうした資料はないのですけれども、そうしたものにつきましては、きちんと施設の管理といいますか点検をいたしまして、計画的に予防保全型で進めていくということで、今回の11月補正につきましては、そういった設計を進めて現場着手ができるということで、亀浦港及び徳島小松島港沖洲地区朝日橋といったところを計上させていただいているという状況でございます。

山田委員

恐らく、いろんなところでまだまだ手を入れなければならないところも多々あると思いますので、この委員会で引き続き質問していきたいと思います。

立川委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、県土整備部関係の調査を終わります

これをもって、県土整備委員会を閉会いたします。（11時38分）